

令和5年

秋
号

萬德院 釈迦寺

令和5年10月1日第97号

敬愛

けいあい

発行：萬德院 釈迦寺 千葉県船橋市高根町 2233-3

0120-646-100

最新のお知らせは：<https://www.syakaji.jp>



ただ念佛して、弥陀にたすけられまいらすべしと、
よき人（法然上人）のおおせをかぶりて、
信するほかに別の子細なきなり。

浄土真宗の「真」は、純粹であることを意味します。それは蓮如上人の次のことばによつても明らかです。
「わが聖人は雑行ぞうぎょうをえらびたまふ（「ただ念佛」以外の行いを除外するの意）。このゆえに往生をとぐ
るなり。このいわれあるがゆえに、別して眞の字をいれたまふなり」【御文】

純粹であるとは、「南無阿弥陀仏 往生之業 念仏為本」（『選択本願念佛集』）、すなわち念佛の行いを
根本とするということ、信心を要かなめとすることをいいます。その信心とは、「帰命尽十方無碍光如來」
（十字名号）、「南無不可思議光如來」（九字名号）とも呼ばれる、母なる阿弥陀の本願は眞実であるとし、
良きも悪しきもそのままに自らの姿を正しく知ることが基盤となります。そうした信心が念佛を
純粹で、眞の念佛とする、いいかえれば、お念佛が自らの生きる支えとなる、わが救いとなるという
ことです。お念佛がそうであるように、純粹で、無心な行いの功徳は大きいのです。

弥陀の本願には老少善惡のひとをえらばれず。
ただ信心を要ようとすとするべし。

『歎異抄たんにじょう

『歎異抄たんにじょう

萬徳院釈迦寺僧侶によるご法事・お葬儀



小室寺院にある各宗派のお祖師さま(切り絵)

萬徳院釈迦寺は、現在、宗旨・宗派に捉われず、すべての方を受け入れる「みんなのお寺」としてあり、広く門戸が開かれています。私たち僧侶も、日頃より多くの方とご縁をいただいております。ご法事やお葬儀ではじめてお会いいたします方には、「ご実家のご宗旨はですか」とお尋ねさせていただくことがあります。日本佛教には代表的な宗派が十三宗あり、そのうち皆さまもよく耳にされるのが、天台宗、真言宗、淨土宗、淨土真宗、臨済宗、曹洞宗、日蓮宗の七つでしょうか。実は、各宗派では、それぞれ拠りどころとする經典、日々讀誦する經典が決まっているのです。

私たち釈迦寺の僧侶は、天台宗に伝わる法儀を基本としており、十三宗すべてのお經をお唱えすることはできません。ただ

し、日本佛教が共通して大切にする經典として『法華經(妙法蓮華經)』があります。加えて、天台宗・比叡山という場は、日本佛教各宗各派の祖師高僧を輩出し、日本佛教の母山と仰がれるという歴史的な經緯からして、お念佛はもちろん『阿弥陀經』、『般若心經』、ご真言など、各宗派のご法事にも共通してお唱えすることのできる經典がございます。ですから、それぞれのご家庭の宗派の理念に寄り添ってのご法事をお勤めすることができるのです。それ以外にも、「実家の宗旨は聞いておりません」とのお答えも少なからずあります。その場合は、施主様のご納得をいただいた上で、天台宗の法儀に基づいての法事を行なわせていただこうとしております。どうぞご安心ください。

北斗七星を 拝むことについて



北斗七星は、生涯にわたって私たちに禍福を分かつ守護星「本命星」とされ、生まれ年の十二支により配分されます。また一年毎の吉凶運勢を司る「当年星(属星)」があり、これは太陽・月に火・水・木・金・土の五惑星、羅睺星(蝕星)と計都星(彗星)を加えた七曜九執をいいます。星供は、この北斗七星と七曜九執を供養し、皆さま方の新年のご繁栄とご多幸をお祈りする大切な法儀なのです。

左図右上から

日本佛教の祖 聖徳太子
天台宗 最澄・伝教大師
淨土宗 法然・円光大師
淨土真宗 親鸞・見真大師
真言宗 空海・弘法大師
臨済宗 榮西・千光国師
曹洞宗 道元・承陽大師
日蓮宗 日蓮・立正大師



行事案内(10月～来年1月)



12月8日(金)



成道会(お釈迦様が悟りを開かれた日)

※僧侶のみでご供養いたします。

令和6年1月1日(月)

修正会・厄除け開運祈願会 (元旦のご祈願)

年の初めにご祈願する『修正会・厄除け開運祈願会』は、皆さんにもご参加いただけます。詳しくは別紙のお申込書をご覧ください。

※厄除けのお札は正月のご祈祷の後に、順次郵送させていただきます。



船橋中央 10:00

小室寺院 10:00 護摩 14:00

稻毛寺院 10:00



定例行事(10月～来年1月)



月例法要 (下記日程の日曜日、午前9時から開式)

小室寺院 10月15日／11月19日／12月17日／令和6年1月21日

稻毛寺院 10月8日／11月12日／12月10日／令和6年1月14日

月例法要では、先祖代々や水子供養、月命日などのご供養を月に一度行っております。各寺院に直接お申込みください。一靈位5,000円

修正会と星供の話

来年令和6年は甲辰(きのえたつ)になります。皆さまの新年は、いずれの星に当たるでしょうか。当年星は九曜星のこと、毎年変わります。同封の『修正会・厄除け開運祈願会』早見表をご参照の上、ご確認ください。萬徳院釈迦寺では毎年元旦10時より、各寺院大本堂にて『仁王般若經』、『法華經』(觀世音菩薩普門品)、『金光明經』(弁才天讚偈)を声高にお唱えして、仏法興隆・天下泰平・五穀豊穰・万民快楽、皆さま方ご家族さまのご



繁栄、ご多幸をご祈願して「修正会」を厳修いたします。それに先立ち、冬至の日より皆さま、お一人おひとりの厄除開運・心願成就を祈る「星供」の祈願を厳修し始めます。今年の冬至は12月22日、その日に星供の木札・紙札を開眼し、同28日の不動護摩供の炎にささげ、新年の「修正会・厄除け開運祈願会」を迎えます。皆さま方の新年のご繁栄・ご多幸を心よりお祈りし、星供のお申込みをお待ちしております。

お知らせ



釈迦寺靈園

立ったままお参りのできる『立建墓』が好評です！

船橋中央の境内にある釈迦寺靈園では、新しい形のお墓として『立建墓』をお勧めしております。お墓参りの時に、しゃがんでお線香をお供えして拝むことが困難な方も、お花のお供えも含めて立ったままお参りできるお墓です。お墓掃除も楽になるように、表面が滑らかな高級黒石材を使用し、雑草を抜く作業も無いように、敷地は全部石で固めています。後継者がいらっしゃらなくなりても無料にて観音堂合祀墓に移し、供養いたします。永代供養料(土地使用料)、墓石、塔婆立て、基本彫刻料、初年度冥加料も含めて総額120万円です。



問い合わせ先

釈迦寺靈園 ☎ 0120-646-100

稻毛寺院

てんげ
新納骨堂「天華」が7月から販売開始となりました

稻毛寺院の1階に、大変きれいな納骨堂がオープンしました。一名様用、二名様用、四名様用と、ご家族様の人数にあわせてお選びいただけます。納骨壇の扉も新デザインを採用し、床は銀の花びらを降らした散華をイメージして、内装も新たにしています。六名様用は2階の阿弥陀堂にご用意しております。見学にはご予約が必要となっておりますので、稻毛寺院までお問い合わせください。

問い合わせ先

稻毛寺院 ☎ 0120-787-800



小室寺院

内装・外装 リニューアルしました



小室寺院では皆さんに気持ちよくお参りしていただくために、壁紙の交換、トイレ改装、外壁塗り替えなどのリニューアル工事を行いました。(稻毛・船橋中央もトイレ改装済)納骨堂も、小室寺院では一名様用に限りご用意できますので、お気軽にお問い合わせください。皆さまのご参詣をお待ちしております。

問い合わせ先

小室寺院 ☎ 0120-445-380



◆納骨堂

13,200円~(年間)

◆合祀墓

7,700円~(1度のみ)

◆自由にデザインできる 外墓地もございます

丁寧なご供養で、
愛するペットちゃんとの
お別れをお手伝いいたします。

動物たちのやすらぎの杜

エンジェルペット霊園



〒274-0817
船橋市高根町2242
(釈迦寺靈園となり)

<https://www.angelpet.jp> ☎ 0120-011-200 (受付時間 9:00~17:00)